

女性たちに必要な情報が 必要なタイミングで繋がる地域を目指す ～現状を知ろう～



一般財団法人 日本女性財団
代表理事 対馬 ルリ子

医療法人社団 ウィミンズ・ウェルネス
女性ライフクリニック銀座・新宿理事長
産婦人科医師、医学博士
[専門/周産期学、ウィメンズヘルス]

日時

2024 **2/12** 月祝 **参加費無料**

10:00～15:30 (9:30開場)

第2部公開講座のみオンライン(Zoom)による
視聴参加も可能です

会場

いわて県民情報交流センターアイーナ
8階会議室 804A
盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 TEL.019-606-1717

テーマ

～女性を応援する人たちが
地域の未来を後押しする～

対象者

行政関係者、医療関係者、各種女性支援団体、
若年層性教育に関わる方及び教育に関わる方、
女性のWell-beingに関心のある女性及び男性

*参加申し込み方法は裏面をご覧ください。

プログラム

司会進行/西松園内科クリニック 院長 滝川 佐波子

■第1部 関係者ミーティング/10:00～12:00

第1部 オリエンテーション/いわてリアルプラットフォーム連絡会 会長 玉木 光子
第1部 開会の挨拶/一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬 ルリ子

10:10/講師①

「誰もが生きやすい社会を目指して～もりおか女性センターの女性支援について～」

講師/もりおか女性センター 副センター長 高橋 和佳子

10:30/講師②③

「にんしんSOSいわて活動報告～現在の相談内容と課題～」

講師/にんしんSOSいわて看護師兼看護師 太田 幸子

看護師兼にんしんSOSいわて看護師 古里 律子

11:00/講師④

「“売春防止法”から“女性支援法”へ」

講師/全国婦人保護施設等連絡協議会会長・婦人保護施設いずみ寮施設長 横田 千代子

11:40/フロアからの支援者発言

12:00～13:30/休憩・昼食会

■第2部 公開講座/13:30～15:30

第2部 オリエンテーション「北東北Femship Doctorsの紹介」

いわてリアルプラットフォーム連絡会 会長 玉木 光子

第2部 開会の挨拶/一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬 ルリ子

14:00/講演①

「居場所を奪われた女性たち」

講師/全国婦人保護施設等連絡協議会会長・婦人保護施設いずみ寮施設長 横田 千代子

14:30/講演②

「日本女性財団の成り立ちと活動状況」

講師/一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬 ルリ子

閉会の挨拶/津軽保健生活協同組合 健生病院 副院長 齋藤 美貴

本イベントは「令和5年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業」です。

主催

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団





いわてリアルプラットフォーム連絡会 第3回フォーラム参加申込書

参加ご希望の方は **2月5日(火)**までに基本的に **QRコード**にてお申し込みください。

QRコードでのお申し込みができない方は FAXでも受け付けます。

※第2部公開講座のみオンライン(Zoom)による視聴参加が可能です。オンライン(Zoom)参加希望の方は必ずQRコードにてお申し込みをお願いいたします。

※定員となり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

QRコードでお申し込みの方

下記QRコードからアクセスしていただきリンク先のお申込フォームからお申し込みください



左記のQRコードからアクセスしていただき
リンク先のお申込フォームからお申し込みください。

※第2部公開講座のみオンライン(Zoom)による視聴参加が可能です。
オンライン(Zoom)参加希望の方は必ずQRコードにてお申し込みをお願いいたします。

FAXでお申し込みの方

QRコードでのお申し込みができない方は下記必要事項をご記入の上、下記FAX番号に送信してください

FAX.0198-45-6114 (いしどりや眼科)

■団体名

■ご担当者名

■部署

■住所

■お電話番号

■FAX番号

■メールアドレス

■事業内容(簡単に)

■参加セミナー (いずれかを○で囲んでください)

第1部のみ ・ 第2部のみ ・ 第1部と第2部

■参加者

番号	参加者氏名(ふりがな)
1	
2	
3	
4	
5	

◎フォーラム当日は、第1部にご参加頂きました各種支援団体名と住所、電話、主な事業内容を記載した資料の配布を予定しています。
配布資料への記載を許可する許可しないの告知をお願い致します。

記載を許可する ・ 記載を許可しない (いずれかを○で囲んでください)

◎個人情報の取り扱いについて：ご記入頂いた個人情報は「個人情報保護に関する法律」を遵守し保有する個人情報を適切に管理し個人権利利益を保護致します。また、頂いた個人情報は本フォーラム以外に使用することはありません。

お問い合わせ

一般財団法人 日本女性財団

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル1.2階 SPACES 大手町
TEL.03-5211-8522 e-mail.info@japan-women-foundation.org

いわてリアルプラットフォーム連絡会 開催報告書(令和5年度 福祉医療機構 社会福祉助成事業)

開催名 第3回 いわてリアルプラットフォーム連絡会
日時 2024年2月12日(祝・月) 10:00-15:30
会場 いわて県民情報交流センター(アイーナ)
所在地 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1

- 1 企画概要 女性たちに必要な情報が必要なタイミングで繋がる地域を目指す～現状を知ろう～
地域の女性の健康を支える医療職種(femship Doctors)が中心となり、地域の健康課題を解決するために多職種間で協力連絡体制の確立を目指し、昨年「いわてリアルプラットフォーム連絡会」を開設し1年が経過しました。
東北北3県(青森:秋田:岩手)において医療の専門的なスキルと経験を持って、女性たちをサポートする「femship Doctors」は現在9名の医師の登録がございます。
(青森県1名:秋田県3名:岩手県5名)
社会問題としても取り上げられるDV・性被害、困窮する女性たちを救うために設立された「日本女性財団」の国内第1号連絡会として、医療で解決できない部分は支援団体との連携により、苦しむ女性のトータルサポートを実現させようと取り組んで参りました。
第3回開催にあたるいわてプラットフォーム連絡会では、第1部としてfemship Doctors、及び連携支援団体による現状課題の認識、課題解決に向けた意見交換の場とし女性のwell-beingを目指す。第2部では、公開講座として日本女性財団代表理事対馬ルリ子氏及び全国婦人保護施設等連絡協議会会長横田千代子氏の講演会を開催し行政関係者、医療関係者、各種女性支援団体、若年層性教育に関わる方、及び医療、保健等を学ぶ学生の方々等を対象とした女性健康支援講座を企画。

2 参加者

人数	1部 47名	2部 52名	オンライン 16名	合計 115名
分類	医療(15名) 団体(13名) 行政(14名) 教育(4名) 企業(4名) メディア(2名) その他 *1部2部継続参加者含む			

3 内容

プログラム 別紙参照

登壇者 もりおか女性センター副センター長 高橋 和佳子氏
にんしんSOS いわて看護師兼看護師 太田 幸子氏
看護師兼にんしんSOS いわて看護師 古里 律子氏
全国婦人保護施設等連絡協議会会長・婦人保護施設いずみ寮施設長 横田 千代子氏

講演内容 第1部「誰もが生きやすい社会を目指して～もりおか女性センターの女性支援について～」
(もりおか女性センター副センター長 高橋 和佳子氏)
第1部「にんしんSOS いわて活動報告～現在の相談内容と課題～」
(にんしんSOS いわて看護師兼看護師 太田 幸子氏、看護師兼にんしんSOS いわて看護師 古里 律子氏)
第1部「“売春防止法”から“女性支援法”へ」 第2部「居場所を奪われた女性たち」
(全国婦人保護施設等連絡協議会会長・婦人保護施設いずみ寮施設長 横田 千代子氏)

4 収支

5 アンケート

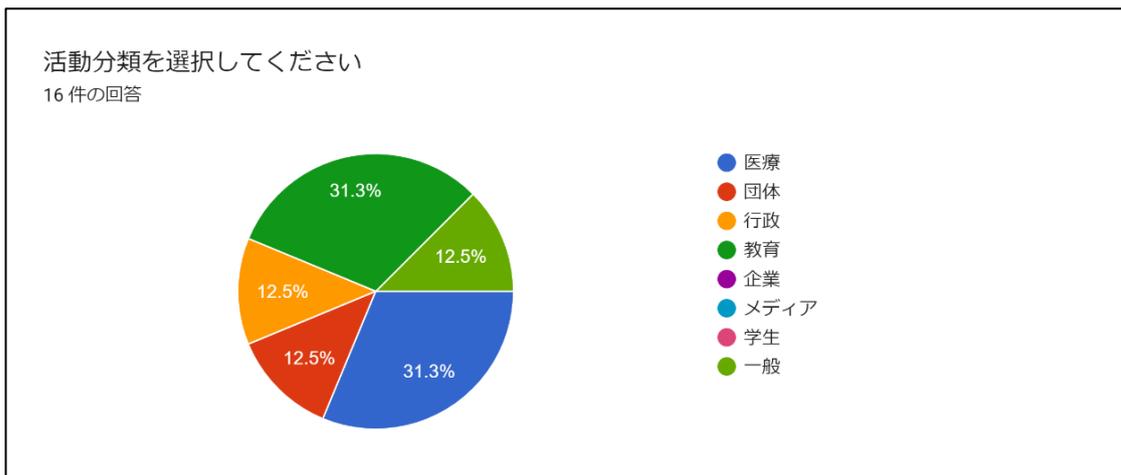
別紙参照

6 写真

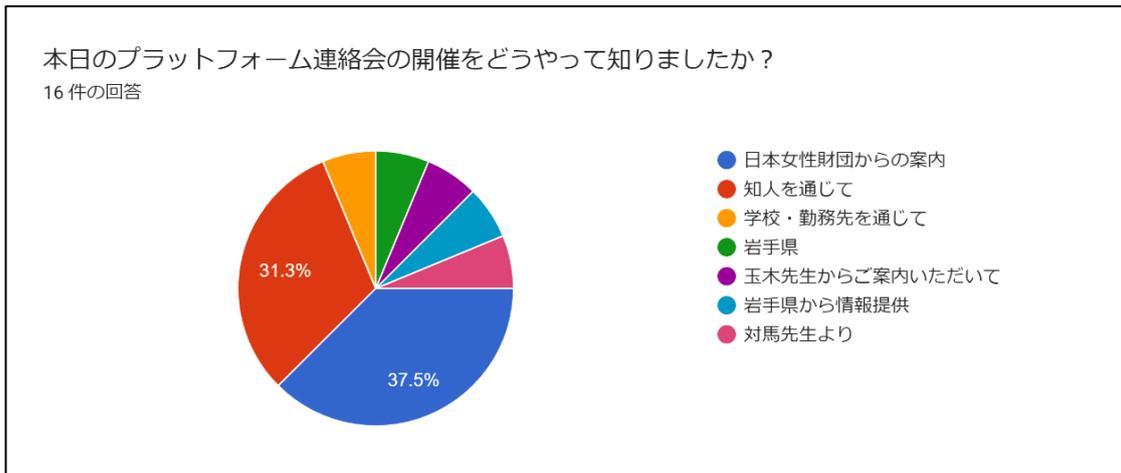
別紙参照

アンケート回答数：16

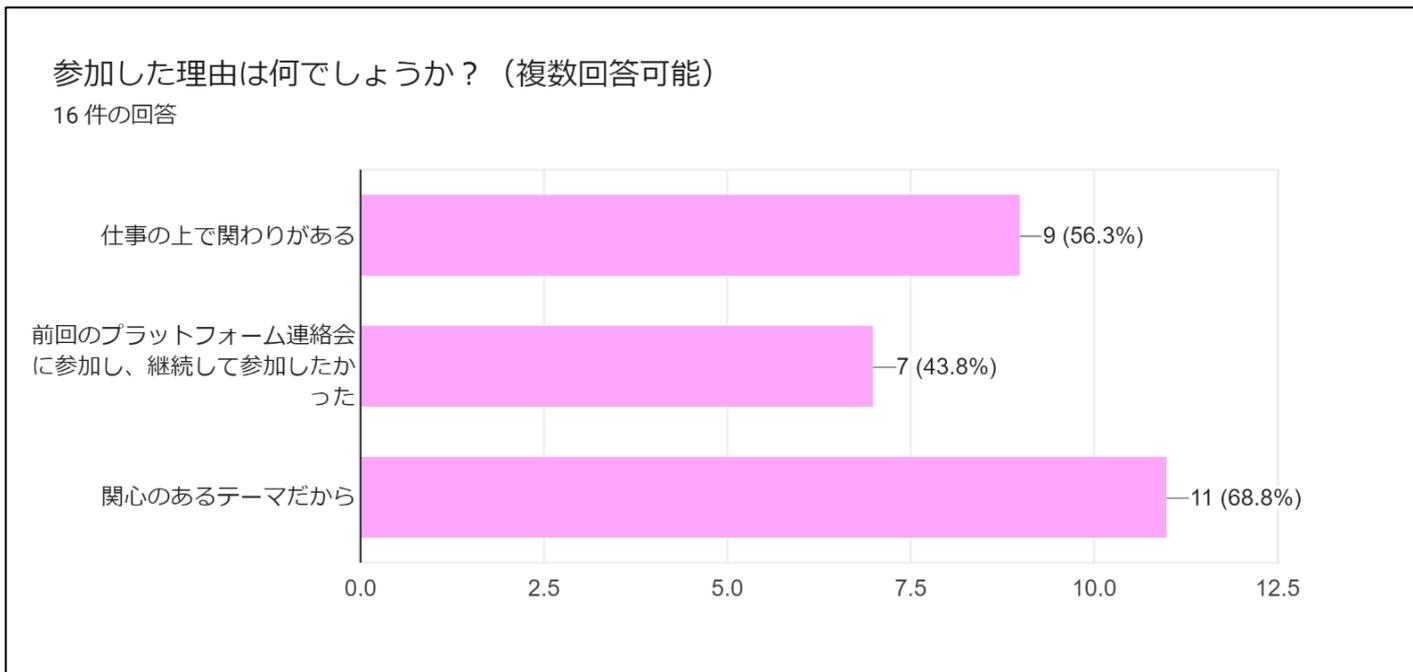
活動分類（医療 5, 団体 2, 行政 2, 教育 5, 一般 2）



開催を知った理由（日本女性財団からの案内 6, 知人を通じて 5, 学校・勤務先を通じて 1, その他 4）



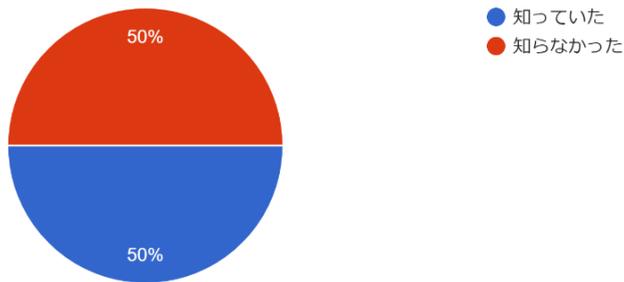
参加した理由（複数回答可）



日本女性財団やフェムシッピングドクターについて知っていたか？

日本女性財団やフェムシッピングドクターについて知っていましたか？

16件の回答



日本女性財団を知っていた理由（友人から、関係者から、前回参加した連絡会で、学校医の玉木光子先生）

開催時期はどうでしたか？（適当 100%，ほかの時期が良い 0）

プログラムについて 時間はいかがでしたか？（ちょうど良い 12, 長い 4）

プログラムについて 印象に残ったのはどのようなことでしたか

被害女性の居場所
知らない事が多く、勉強になりました。
にんしんSOS.いずみ寮
フランスの事例が印象的でした
にんしんSOSや売春防止法が改正されることなど身近でかつ知らない情報を得ることができました
生涯を通じた女性の支援のあり方について、改めて考えさせられました
売春防止法が変わること。色々な方と繋がることができました。
横田さんの実践事例
婦人保護施設の取り組み
横田さんの婦人保護施設でサポートされた、義父から性被害を受けたという女性のお話がとても衝撃的でした。また、対馬先生が視察に行かれたフランスのメディカルセンターが、医療やメンタルサポート、支援団体や警察などたくさんの方たちが連携して支援しているという話も大変興味深かったです。
女性のライフサイクルの中心が50代更年期という考え方でライフステージに合わせて健康問題の課題に取り組んでいくことの大切さ。女性が元気である社会が重要と感じた。
売春防止法から女性支援法へ。横田さんのお話はかなり衝撃的でした。皆に知って欲しいと思いました。支援を必要とする人がまだまだたくさんいること、そして、女性だから仕方ないではなく、女性だからこそ支援が必要なのだと再認識しました。悲しむ人を一人も出たくないという玉木光子先生の思いを、これからも生徒たちに伝えていかなければと思いました。
色々な団体の話を聞くことができたこと
横田さんの講演
横田千代子さんの新法の説明と具体例
対馬ルリ子先生の講演

日本女性財団やフェムシップドクターに期待することを何でもお聞かせ下さい

多職種にもっと知ってほしい。必ず貢献できる事があると思います。
困り事のたどり着ける場所があることが素晴らしい。関係が広くつながりますこと期待しています。
職場での講演、講義
青森にもあるといいな
今後も研修開催を望みます
私自身が夫のモラハラ&ワンオペ育児で心身を病み、専業主婦だったので経済的DVも受けた経験があります。行政や女性センターに相談に行っても具体的なサポートはいただけず、長年苦しい思いを抱えながら生きてきましたので、財団やドクターには様々な支援団体や行政などとの連携を進めていただけるよう期待します。精神的DV(モラハラ)や経済的DVは表面に出にくく、受けている側も「私は身体的暴力を受けていないから…」と我慢しがちですので、そういう被害を受けている人にもサポートの手が届くように視点を広げていただくよう望みます。
女性支援の必要性について多くの人に伝えてほしいです。
女性の生涯に渡る健康を支え、支援の中心の役割を担って頂きたい
このような会を開いて啓蒙を図るとともに、横のつながりを作ってほしい。
困難な女性たちのホームドクターとして、今後も寄り添って行ってほしい。
協力したい
困難を抱える女性が支援施設につながるよう広報活動
関係団体の連携、拡充に期待しています。
可能であれば一緒に活動したい

